

2015年度(平成28年3月期)
連結決算の概要

2016年5月12日

株式会社 キムラタン

Contents

- 1. 2015年度 連結決算の概要**
- 2. 2016年度 通期連結業績の見通し**

2015年度 連結業績概況



単位: 百万円

	2014年度	2015年度	前年同期比	増減率
売上高	4,659	4,237	△ 421	-9.0%
営業利益	27	△ 225	△ 252	-
経常利益	16	△ 267	△ 283	-
親会社株主に帰属する 当期純利益	4	△ 289	△ 293	-

円安を背景とする環境変化に対応し、リテール事業に大きくシフトする構造転換を図ったが、対応策の不足と遅れに市場環境の厳しさも重なり、計画値には届かず

売上高は前年同期比 9.0%減となり、結果、営業損失は225百万円の赤字に至る
経常損失は新株発行費用の計上により267百万円となり、
繰延税金資産を取り崩した結果、親会社株主に帰属する当期純損失は289百万円となる

セグメント別売上高



売上高 4,237百万円

前期比 -421百万円(-9.0%)

単位: 百万円

	2014年度		2015年度		前年同期比	
		構成比		構成比		増減率
全社売上高	4,659	100.0%	4,237	100.0%	△421	-9.0%
リテール事業	3,525	75.7%	3,850	90.9%	325	9.2%
ショップ	2,967	63.7%	3,173	74.9%	205	6.9%
ネット通販	557	12.0%	676	16.0%	119	21.5%
ホールセール事業	1,088	23.4%	350	8.3%	△737	-67.8%
海外事業	45	0.9%	36	0.8%	△9	-19.7%

減収要因

- ・ ホールセール事業は大幅減
構造転換を目指し専門量販店との取引を休止 -737百万円(-67.8%)
- ・ 海外事業は主力得意先との取引中止により -9百万円(-19.7%)

増収要因

- ・ 店舗数増によりショップの売上が増加 +204百万円(+ 6.9%)
Baby Plaza既存店は前期比 -6.5%と苦戦
- ・ ネット通販は限定商品投入、新サイト開設が奏功 +119百万円(+21.5%)

セグメント別売上総利益



売上総利益 2,177百万円 前期比 -118百万円(-5.2%)

売上総利益率 51.4%(+2.1pt)

	2014年度	2015年度	前年同期比
売上総利益率	49.3%	51.4%	2.1%
リテール事業	61.3%	58.8%	-2.5%
ホールセール事業	32.6%	34.3%	1.7%
海外事業	33.5%	27.4%	-6.1%
小計	54.3%	56.5%	2.2%
その他原価額 (単位:百万円)	234	218	△15

※ その他原価額は、売上原価に配賦された製造間接費、在庫評価損・廃棄損等

- ・ リテール事業の売上構成比拡大により、売上総利益率は、2.1ポイント増の51.4%
- ・ 売上減に伴い売上総利益額は、前期比-5.2%となる
- ・ リテール事業では在庫消化に向けた値引きロスが増加し、前期比-2.5ポイント
- ・ ホールセール事業では、専門量販店縮小により微増となる
- ・ その他原価額の減少は主として製造間接費の減少による

販売費・管理費の増減



販売費・管理費 2,402百万円 前期比 +134百万円(+5.9%)

販管費率 56.7%(+8.0pt)

単位:百万円

	2014年度		2015年度		前年同期比	
		売上比		売上比		増減率
売上高	4,659	100.0%	4,237	100.0%	△421	-9.0%
変動費	1,044	22.4%	1,153	27.2%	108	10.4%
固定費	1,223	26.3%	1,249	29.5%	25	2.1%
販管費合計	2,268	48.7%	2,402	56.7%	134	5.9%

- ・ 変動費率の増加は、主にリテール事業の構成比が高まったことによる
- ・ 固定費の増加は、主に新規出店に伴う販売員の増加による
- ・ 店舗数増に伴う経費増が先行し、売上高販管費率は8.0ポイント増の56.7%となる

単位：百万円

	2014年度末	2015年度末	前期末対比
総資産	2,565	2,814	249
流動資産	2,356	2,627	270
現金・預金	491	901	409
受取手形・売掛金 ※	683	526	△ 157
たな卸資産	1,104	1,159	54
固定資産	208	186	△ 21
負債	1,422	1,209	△ 212
支払手形・買掛金	178	79	△ 99
借入金	1,007	874	△ 133
純資産	1,142	1,604	461

主な増減

- ・ 受取手形・売掛金は売上減と回転期間短縮により減少となる
- ・ たな卸資産は、店舗数増加に伴う増加があり、削減には至らなかった
- ・ 固定資産は店舗設備等の取得があるが、設備の除却、減価償却により減少
- ・ 支払手形・買掛金の減少は中国工場との直買割合増加に伴う支払サイト短縮による
- ・ 純資産は増資による増加と、当期純損失・その他包括利益の減少による

※ 電子記録債権を含む

連結キャッシュ・フローの状況



単位:百万円

	2014年度	2015年度	前年同期対比
営業キャッシュ・フロー	△ 389	△ 202	187
税金等調整前当期純利益	11	△ 269	△ 281
減価償却費	30	37	6
売上債権の増減(△は増加)	△ 28	146	175
たな卸資産の増減(△は増加)	△ 325	△ 54	270
仕入債務の減少(△は減少)	△ 51	△ 99	△ 47
その他	△ 25	37	63
投資キャッシュ・フロー	△ 91	△ 20	70
財務キャッシュ・フロー	369	635	265
現金・現金同等物期末残高	491	901	409

・ 営業キャッシュ・フロー

税金等調整前当期純損失、仕入債務の減少等により、202百万円のマイナスとなる
売上債権の減少とたな卸資産の増加幅縮小により、前年同期と比べマイナス幅は縮小

・ 投資キャッシュ・フロー

主に有形固定資産(店舗設備)の取得による

・ 財務キャッシュ・フロー

新株式の発行による収入が769百万円。借入金返済により133百万円減少した

出退店の状況



	2014年度末	出店	退店	2015年度末
全ショップ合計	235	22	10	247
Baby Plaza・ テナントショップ	191	10	10	191
Bobsonショップ	44	12	0	56

※ Baby Plaza ベビーサイズを中心とした売場内ショップ テナントショップ テナント契約の直営店
 Bobsonショップ Bobsonブランド単独の売場内ショップ

- ・ 当期の実績 新規出店:22、退店:10 当期末の店舗数 247店舗
- ・ 新規出店の内訳 Baby Plaza:10、Bobson:12
- ・ 退店の内訳 Baby Plaza:5、テナントショップ:5

2016年度 通期連結業績の見通し



単位:百万円

	2015年度	2016年度	前年同期比	増減率
売上高	4,237	5,000	762	18.0%
営業利益	△225	25	250	—
経常利益	△267	15	282	—
親会社株主に帰属する 当期純利益	△289	10	299	—

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、本資料の発表日現在において入手可能な情報に基づき作成したものであり、実際の業績は今後の様々な要因によって予想数値と異なる場合があります。



KIMURATAN